

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 北川鉄工所 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市駅家町法成寺1613-10

(3) 業種

鑄鉄鑄物製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。

現在、認証取得しているISO14001への取組みと連動し、地球温暖化防止について、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成27年度
二酸化炭素		13,016	13,016

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成27年度
二酸化炭素	0	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成27年度
メタン	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0
HFC PFC SF6	0	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)	削減目標		目標年度 (平成27年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
フロン類				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産重量(t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	13,016	7,503	1.73	5.0	13,184	8,000	1.65
非エネルギー起源CO2	0	0			0	0	
メタン	0	0			0	0	
一酸化二窒素	0	0			0	0	
フロン類	0	0			0	0	
総排出量	13,016	7,503	1.73	5.0	13,184	8,000	1.65
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.61				0.58
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は原単位ベース年約1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用量の削減	エネルギー起源CO2原単位を約5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・溶解歩留りロスの削減 ・稼動ロスの改善 ・生産計画の効率化 ・不良ロスの低減 ・エアリーク等々の適正管理 ・電源スイッチ管理の徹底 ・エアコン温度の適正管理
2			
3			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

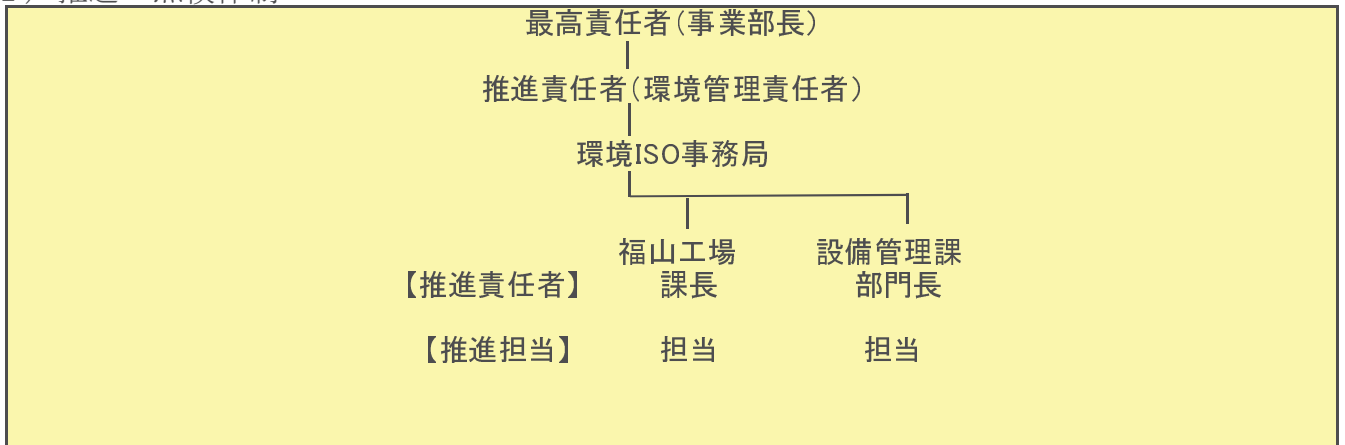
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境ISO事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況を把握・点検及び問題点の検討を行い、マネジメントレビュー及び原価会議等において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

- ・事業所に備え付けによる閲覧、インターネットの利用、その他適切を認める方法で公表する。